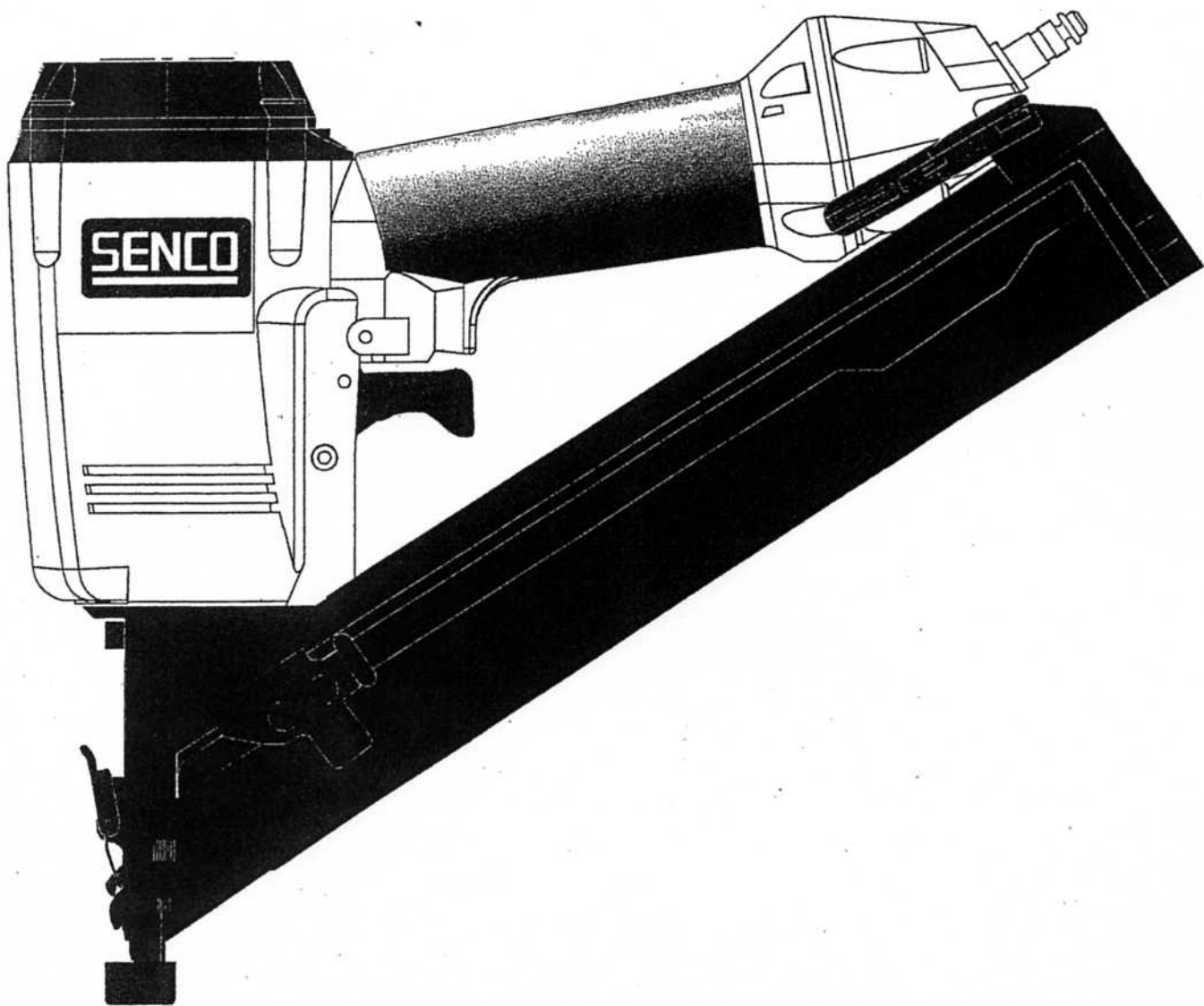


SENCO[®]
FASTENING SYSTEMS

取扱説明書

SFN30



NFJ862 発行日平成 10 年 12 月 1 日

発売元 リョービ販売株式会社

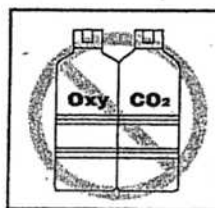
内容	ページ
安全作業の手引き	1
使い方	3
日々の点検	4
故障と対策	5
釘打機と釘の仕様	6

安全作業の手引き

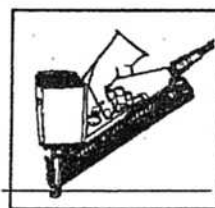
「安全作業の手引き」を充分読んでください。



・酸素、炭素ガスは絶対に使用しないでください。



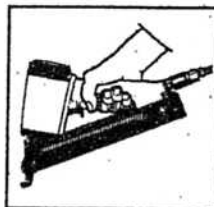
・硬すぎる材料に釘打をする場合には、完全に打ち込めない場合もあります。



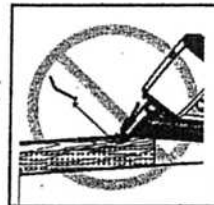
必ず安全メガネをしてください。



・セーフティーレバーが、なにかに当たって誤って押し上げられ、釘が発射する恐れがありますので作業中断時、あるいは釘打機を持ち歩く時は、必ず引き金から指を外してください。



・釘が飛んで怪我のもとになりやすいので、打ち込み済みの釘の上から、又、浅い角度で釘打はしないでください。



その他、耳栓及びヘルメット等保護具をしてください。

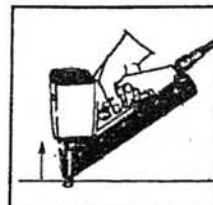


・釘打機には必ず釘が入っているという想定で、いつも注意して取り扱ってください。釘打機は作業道具であって、遊び道具に使わないでください。



・二度打ちによる跳ね返りも起こる事がありますのでスペースのある所で釘打作業をしてください。

二度打ちを避ける為、一本目の釘打作業が終わって次の釘を打つ用意ができるまで、セーフティーレバーを押しつけないでください。

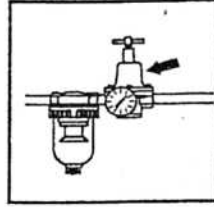


安全作業の手引き

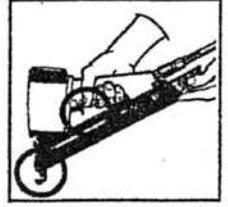
・材料の端部分への釘打は材料が飛んだりする恐れがありますので、際打ちはしないでください。



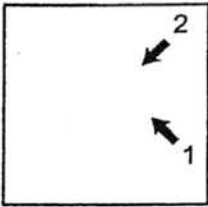
・指定された適正エア圧に調整してお使いください。本機の適正エア圧は4.8~8.3気圧です。



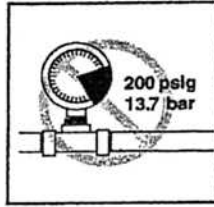
・引き金を引いた、またはセーフティーを押した状態で釘装てんはしないでください。



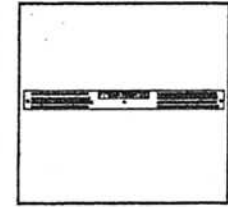
・釘を入れたままエアホース（カブラ）をつなぐと釘が発射する場合がありますのでエアホース（カブラ）をつなぐ前に必ず釘をすべてぬいでください。



・13.7気圧以上の高圧で使用しないでください。



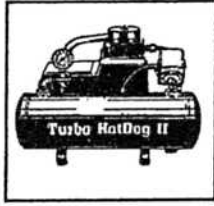
・安全作業についてのステッカー「ご注意」の貼られていない釘打機は使用しないでください。もし、そのステッカーを紛失あるいは損傷した場合は最寄りのリョービ販売営業所に連絡の上、新しいステッカーをつけてください。



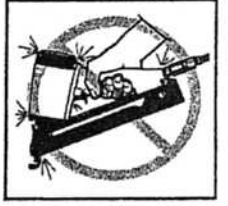
・安全装置、引き金、及びスプリングがこわれて動かなくなったときは、絶対にその釘打機を使用しないでください。



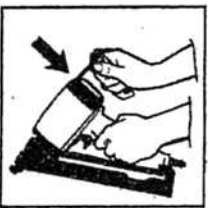
・清浄な圧縮空気をご使用ください。



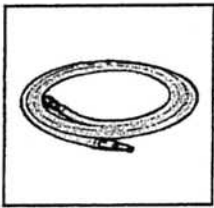
・エア漏れしている、又は、修理の必要な釘打機は、使用しないでください。



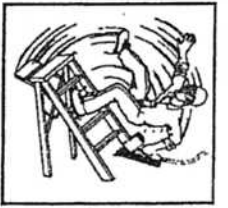
・毎日、使用前にネジ類の点検、増し締め、安全装置作動の確認を行ってください。もし部品の破損、紛失があれば絶対に使用しないでください。



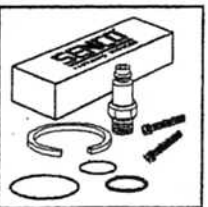
・使用エアホースは、最低10.3気圧、あるいは使用エア圧の1.5倍の空気圧に耐えられるものを使用してください。



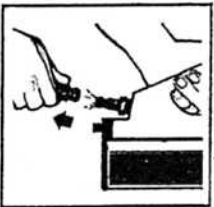
・足場の不安定な場所での釘打作業は避けてください。



・修理部品や釘は、純正品をご使用ください。



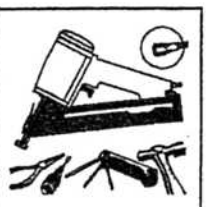
・カブラからエアホースを取り外したとき、釘打機内のエアが抜け出るカブラを使用してください。



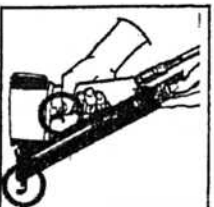
・センコ釘打機の安全作業についてお気軽に最寄りリョービ販売営業所にお問い合わせください。



・釘打機の点検・修理時、つまった釘を取り除く時、他の場所へ移動させる時、又は、他の人に手渡す時は必ずエアホース（カブラ）をはずしてください。



・引き金を引いたまま、あるいはセーフティーを押した状態で釘装てんはしないでください。



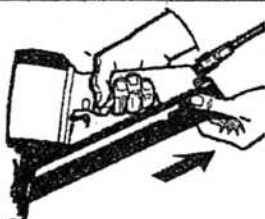
使い方



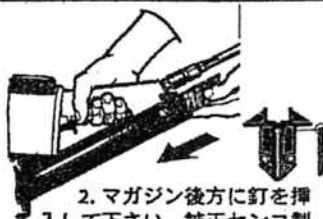
本機をご使用になる前に必ず「安全の手引き」を読んでください。



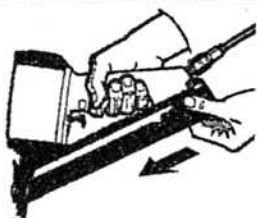
・ホースをつなぐ時は、引き金から指を離し、発射口を自分又、他人に向けしないで下向きにしておこなってください。



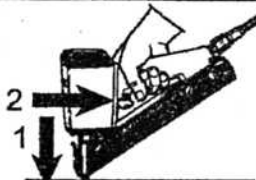
・釘の装填：
1. フィーダーシューを後方いっばいに引いてフィーダーシューを「ロック」状態にしてください。



2. マガジン後方に釘を押し入して下さい。純正センコ製の釘のみを使用下さい。このとき、セーフティーレバーを押したままあるいは、引き金に指をかけるように注意して下さい。



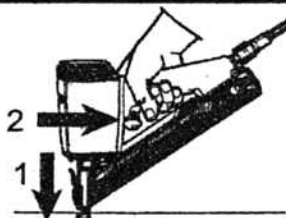
3. リリースボタンを押してフィーダーシューを前方にすべらせてください。



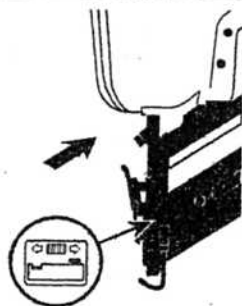
・単発式
① 初めにセーフティーレバーを作業面に押しつけます。
② 次に引き金を引くと釘が発射されます。



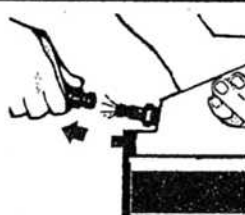
・連発式
引き金を引きっぱなしにしてセーフティーレバーを作業面に打ちつけると、連続的に発射されます。



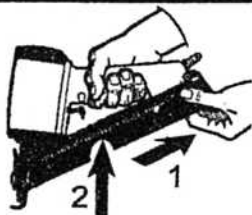
・単発式は特に正確な釘打ち作業をする場合に向いています。



・深さ調節をするには、ネジをゆるめて下部セーフティーエレメントを上下させ、ネジを固めて固定します。調節した後、セーフティーエレメントが自由に動くことを確認してください。



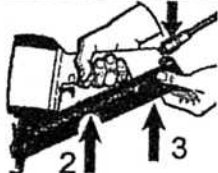
・釘づまりを起こしたらず、エアホース（カブラ）をはずしてください。



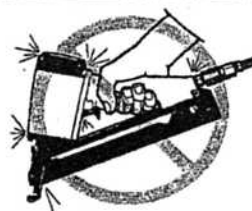
・フィーダーシューを後方へ引いて釘を押している状態から解放します。そしてマガジン内の釘を取り出してください。



・イージークリアラッチをはずしてフロントプレートを開けます。つまった釘を取り除いたらフロントプレートとラッチをキチンと正しい元の位置にもどします。



・ホースをつなぎ、釘のマガジンを元に戻します。リリースボタンを押してフィーダーシューを前方にすべらせてください。



・エア漏れしている、又は、修理の必要な釘打機は、使用しないでください。

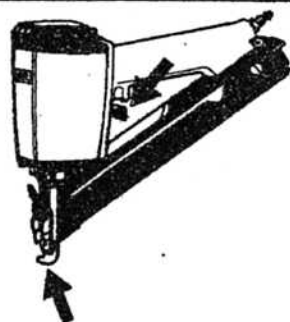
日々の点検



・「安全作業の手引き」を充分読んでください。



・ご使用前には必ず各部のネジ類を点検してください。ネジがゆるんでいると使用上危険で、故障の原因となります。



・ご使用前に安全装置がスムーズに正しく作動するかどうかを確認してください。

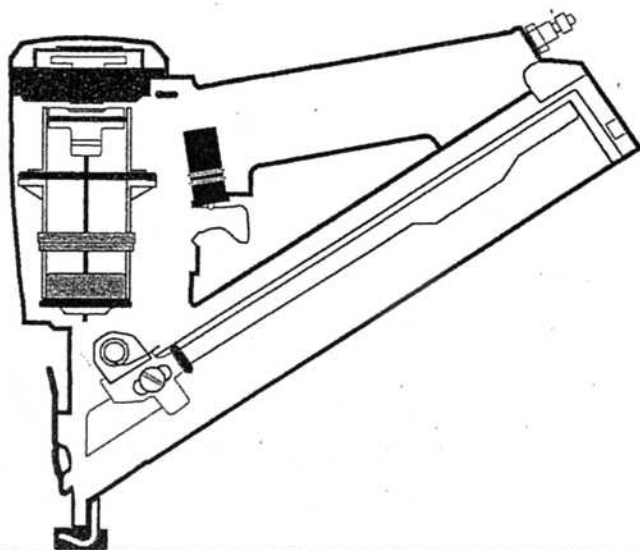


・オイルフリー。オイルの注入はしないでください。



・毎日釘打機をきれいにふいて、破損してないかよく点検してください。オーリングやその他部品を損傷させる恐れがありますので非可燃性の溶剤を使用し決してそれに漬けたりしないでください。

故障と対策

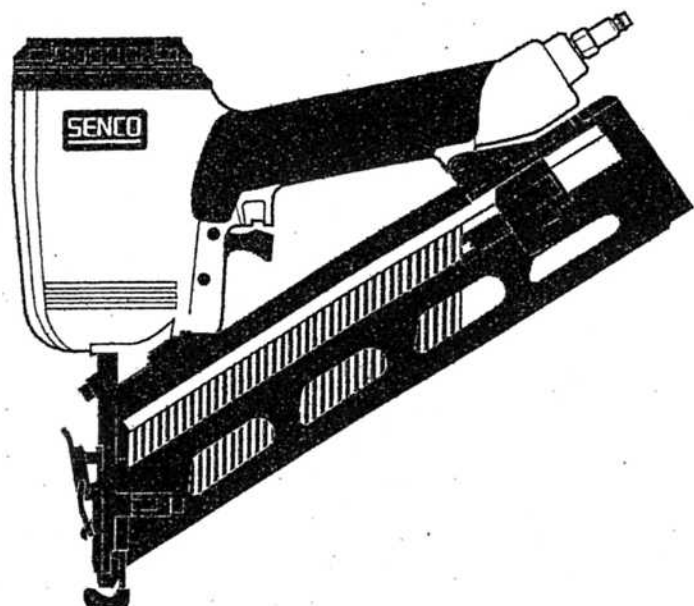


- ・点検・修理は必ずホースをはずしてから行ってください。
- ・下段に該当しない故障及びその他アフターサービスのお問い合わせは最寄りのリョービ販売営業所へお気軽にご連絡ください。

故障	対策
1. キャップ廻りからエアーもれ。	キャップスクリューを点検・増し締め。 又はパーツキット "A" 部品交換。
2. 引き金を引いても反応しない。	空気圧を点検。 又はパーツキット "A" 部品交換。
3. ツールのサイクルが不安定。	パーツキット "A" 部品交換。
4. ツール下部からエアーもれ。	ネジを点検・増し締め。 又はパーツキット "B" 部品交換。
5. ドライバーの戻りが悪い。	ピストンシリンダー廻りを清掃。 又はパーツキット "B" 部品交換。
6. 打込力が弱い。	空気圧を点検。 又はパーツキット "C" 部品交換。
7. ドライバーの摩耗・折れ。	パーツキット "C" 部品交換。
8. 釘の送り不具合。	マガジン部を清掃。 又はパーツキット "D" 部品交換。
9. 釘づまり。	ガイドボデー廻りを点検。 又はパーツキット "D" 部品交換。
10. その他。	最寄りのリョービ販売営業所へお問い合わせください。

お問い合わせ先 販売元 リョービ販売株式会社

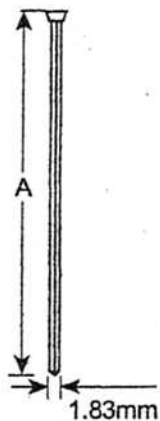
モデル SFN30 釘打機と使用釘



本体仕様

使用気圧:	4.8~8.3 気圧
使用空気量:	61.2 リットル
ホース内径:	6 mm 以上
最高速度:	5 サイクル/秒
重量:	1.6 kg
装填数:	104 本
高さ:	244 mm
長さ:	305 mm
幅:	82.5 mm

使用釘仕様



コード	A
	mm
DA13	25
DA15	32
DA17	38
DA19	44
DA21	50

ドライバー仕様

3.18mm はツールに標準装備です。



皿穴深さ	パーツ番号
0 mm	EC0119
.79 mm	EC0120
1.59 mm	EC0121
3.18 mm	EC0122